

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 5 回玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会
開 催 日 時	平成 3 0 年 1 月 3 1 日 (水) 1 9 時 0 0 分～
開 催 場 所	玉里保健センター 1 階 集団検診室
出 席 者	<p>【出席委員】 戸田 大我 大平 勇一 原田 和雄 小山田香代 竹田 武美 伊藤 岳快 梶原 恵美 額賀 博 長谷川美智子 白井 律子 園部 文夫 塚本 繁雄 圓尾 康子 高野 郁 田山 恵子 羽鳥 文雄 稲田 雅志 大島 利則 鶴町 文男 長谷川忠徳 田上 義明 藤田 泰正 室町 弥 大山 徳 荒井 敦 相澤 博文 長谷川倫彦</p> <p>【欠席委員】 久保田浩一 鈴木 秀和 夏井 義一 戸田 見良 小川 和美 田中 周 亀井 優 大和田智弘 戸田 見成 大槻 良明 青木 寿美 小沼 卓実</p> <p>【事務局】 長津 智之 中村 均 吉永 成範 植田 薫 外之内信浩 内田 真基 戸塚 聡 田村 直弥</p> <p>【その他】 (青山建築設計事務所) 飯島 賢二 小松由樹子</p>
内 容	・工事全体計画 (案) について
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、他)
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 1 人)

【協 議】

(1) 工事全体計画（案）について

委員長 今回は、前回の建設準備委員会において、委員から意見いただいた部分についての改善点の報告と工事全体計画案について、進めていきたい。
まず、事務局から前回からの改善点の報告をお願いしたい。

資料1、2に基づき、事務局より説明

事務局 第14回の建設準備委員会において、平面計画に関する様々な意見をいただいた。その意見を基に、配置図、平面図の見直しを行った。

資料1左側に前回の準備委員会における意見を整理した。これらの意見については、前回の準備委員会の後、各校の校長先生に集まっていただき、事務局と検討を行った。

1点目として、管理エリア、職員室から校舎北側に位置しているサブグラウンドでの児童の活動が見えない、教師の目が届かないのではないかとといった意見があった。前回の建設準備委員会においても発言があったが、業間休みや昼休みには、先生が外へ出て見守りなどを行っているとのことだった。そのような活動を継続して行っていただくことと併せ、校舎内にサブグラウンドが見渡せるスペースを確保した。それについては、後ほど平面図で説明したい。

2点目として、教室の広さについての意見があった。これについては、教室の廊下側を2㎡程度広げ、ゆとりを確保した。

3点目として、廊下の幅についての意見があった。現在の小中学校の廊下幅は2.3m、現計画における廊下幅は3.2m、現計画の方が90cm広がっている。新しい学校では、児童生徒数が増えることなどから、安全面についても配慮し、計画のとおり進めていけると考えている。

4点目として、中学校の授業で行う武道についての意見があった。現在、玉里中学校では、体育館にスポーツ畳を敷き、武道の授業、柔道を行っている。新たに建設する小体育館については、小学生が中心となる運用を考えているため、中学生の武道の授業については、これまでどおりの運用を考えている。

5点目として、2階の職員・来客用玄関と児童生徒が体育館へ移動する際の動線についての意見があった。これについては、後ほど平面図で説明したい。その以外に、3つの意見、水はけの良いグラウンドにしてほしい、階段の蹴上げ部分の隙間をなくしてほしい、中学部2階アプローチを水はけのよい素材にしてほしいという意見があった。この3つの意見については、来年度に行う詳細な設計の中で検討していく。

資料1の右側、配置図を見ていただきたい。現在、玉里中学校体育館の北西

側の土地、赤の破線部分は雑木林となっている。そのため、体育館が陰となっており、薄暗く感じられる。この度、地権者から協力を得ることができ、市で取得することができた。その土地の利用としては、駐車場及び校内通路とすることを考えている。

次に、資料2の平面図を見ていただきたい。先ほど、管理エリア、職員室から校舎北側のサブグラウンドが見えないという意見に対する修正点を説明した。その修正としては、校舎2階左側の赤枠部分にサブグラウンドを見渡せるスペースを確保した。また、同じく2階右側の赤枠部分では、職員・来客用玄関と児童生徒が体育館へ移動する際の動線が交差しないよう、給食室、職員トイレを挟む形状とし、通路を分けた計画とした。その他の平面図の変更点として、1階の赤枠部分がある。前回の平面図では、児童用昇降口の正面、トイレ右側に階段があった。校舎内には、その階段の他に2つの内階段があり、児童生徒の動線に影響がないことから、その階段の代わりに教材室を大きく配置するなどの変更を行った。

資料3に基づき、事務局より説明

事務局 続いて、工事全体計画案について説明させていただく。資料3を見ていただきたい。資料の見方だが、時期ごとに工事を4つに分けて表記した。また、4つそれぞれの工事名の下に年度と月を表記し、その下に工事期間と更に細かい工事名を枠を用いて示した。また、その枠中と図面において、丸番号は工事の順番、青色とした箇所は解体工事、赤色とした箇所は新設工事としている。

では、工事の順番について説明したい。

平成30年度の「事前工事」では、まず、現玉里小学校のプールを解体し、そこへテニスコートを新設する。現玉里小学校のプールは老朽化しているため、解体を行い、来年度から玉里B&G海洋センターを使用する。次に、新校舎建設中のグラウンドの広さを確保するため、現玉里中学校テニスコート部分の盛土を行い、現グラウンドと同じ高さにする。工事車両は、玉里小学校と玉里中学校間の道路から校内へ進入し、テニスコート部分へ土を運ぶ。次に、現玉里中学校体育館の北側を駐車場とするための造成工事を行う。

平成31年度、平成32年度の「第1期工事」では、まず、グラウンド南側に新しい倉庫、屋外トイレ、部室を整備する。それと同時に新校舎建設を行う。また、倉庫等が完成する時期には、既設の倉庫と部室を解体する。新校舎が完成する時期には、現玉里中学校体育館への仮設渡り廊下を整備する。それに併せ、その整備予定箇所にある倉庫を解体する。なお、本校舎建設中のグラウンドへの動線は、矢印で示したとおりとなっており、現玉里中学校校舎北側から校舎外へ出た後、西側を通り、グラウンドへ行けるようにする。平成33年度は、上半期と下半期に分けて表記した。「第2期工事(1)」は、上半期になっている。まず、現玉里中学校校舎を解体する。解体が終わった

後、新しい駐輪場を整備する。新しい駐輪場が完成するまでは、既設の駐輪場を使用する。解体工事に係る搬出に関しては、拡張した北側の敷地を利用し、生徒との動線が被らないようにすることで安全性を確保する。この搬出経路を確保するために既設駐輪場の一部を解体するが、生徒数の推計上、生徒数分の駐輪台数を確保できる見込みとなっている。

続いて、「第2期工事(2)」、平成33年度の下半期は、新しい駐輪場が完成したため、既設駐輪場を解体する。次にサブグラウンドを整備する。その後、児童クラブ、渡り廊下の順に整備する。新しい渡り廊下が完成した後、仮設渡り廊下を解体し、既設駐輪場跡地の舗装、最後に門周辺の整備を行う。また、現玉里小学校校舎の解体とグラウンド整備を同時に行い、平成33年度中に全ての工事が完了するように計画している。

委員長 では、一つ一つ見ていきたいと思う。まず、資料1について。前回の意見を基に検討した部分がいくつかあったが、質問や意見はいかがか。

委員 水はけの良いグラウンドにしてほしいということがあったが、現在の中学校のグラウンドは難しいと思う。玉里B&G海洋センターのグラウンドは良い。

委員長 武道場を設置してほしいという意見については、事務局からは今までどおりの運用、既存の体育館を利用するということがあった。以前の玉里中学校は柔道部、剣道部があったが、現在は生徒数の関係もあり、柔道部や剣道部などの武道を行う部活がない。また、体育では柔道を行っているが、1年の内、期間限定のものであり、1学年10時間程度となっている。このために新たに武道場を造るということは、どうなのだろうかという話が出ていた。また、サブグラウンドで子供たちが遊ぶ際について、現在の各学校は、業間休みや昼休みに職員が見回るといったことを行っている。義務教育学校になった後、同じように行っていけば大丈夫と考える。先ほど説明があった平面図では、サブグラウンドを見渡せるような場所を設置していただいているということもあり、対応できるのではないかと思います。資料1について、他にいかがか。

－ 意見等なし －

委員長 では、資料2の平面図についてはいかがか。教員は普段、こういった場所で子供たちを指導しているため、どのような部屋の並びが良いかといった考えがある。この平面図は、教員の意見を参考とし、事務局と相談しながら作り上げたものになっている。意見や質問があれば、お願いしたい。

－ 意見等なし －

委員長 では、資料3の工事全体計画について、意見や質問があれば、お願いしたい。また、プールの老朽化について、玉里小学校の現状はどうなのだろうか。

委員 プールの底の塗装がはがれてきてしまい、子供たちが足の裏を怪我してしまうということが何件かあった。それを修理する場合、多くの費用がかかるということがあると同時に、ひび割れによる水漏れがあるといったことも考え

	<p>ると、プールを直すのではなく、B&G海洋センターのプールを借りて水泳の授業を行った方が良くと考えている。平成30年度は、B&G海洋センターのプールで授業を実施したい。また、プール跡地にテニスコートを設置するということがあった。新校舎が完成する前にテニスコートが完成した場合、現玉里小学校の校舎が建っている時期に部活を行う中学生が道路を渡ってくることになる。その際の管理や指導について確認したい。校舎の裏手になるため、日陰や死角になる部分かと思う。</p>
委員長	<p>中学校は、学校の外、B&Gなどで部活動を行う時がある。そういった時、部活動の顧問が責任を持って引率や管理を行っているため、それほど問題のあることではないと思う。</p>
事務局	<p>資料の中で特に「第1期工事」、新校舎の建設といったところは、大きな工事になると思うが、いかがだろうか。工事車両の出入りする場所は、玉里中学校右側の道路、校庭と道路の段差がない場所ということか。</p>
委員長	<p>「第1期工事」の図面中に工事車両を示している。その場所の道路とグラウンドの高さがほとんど同じとなっている。土を盛ったり、削ったりしなくても良いため、この場所を全ての工事車両の入口と考えている。</p>
委員	<p>子供たちの登下校、特に登校と重ならないように大型車両等が入ってくるようになれば良いと思う。</p>
事務局	<p>平成31年度のグラウンド拡張工事の際、工事範囲の周りはフェンスなどで囲むようになるだろうか。現在、保護者会や卒業式の際に南側の門を県道側からの通用として使用している。そこから入ることが可能かどうかを聞きたい。</p>
委員長	<p>工事範囲に関しては、グラウンドと近接しているため、バリケードを設置し、ボールや子供が完全に入れないようにしたいと思う。また、県道側から学校へ入れないと、授業参観などの際に困ってしまうと思う。その際は、工事業者に話をしたい。工事範囲はダンプが通るため、地面に鉄板を敷くと思うが、グラウンドに車が入る時は空けるといった対応を行いたいと思う。</p>
委員	<p>現在、行事によっては、玉里小学校に協力いただき、玉里小学校グラウンドに車を止め、中学校側に来るといったことも何度かある。そういったことも可能かと思う。</p>
事務局	<p>正門はどこになるのか。</p>
委員	<p>資料1を見ていただきたい。北側に車両出入口、自転車出入口をそれぞれ設置している。また、南側には新正門と表記した歩行者出入口を設置している。このように動線を分ける形となっている</p>
事務局	<p>来客は、新正門から入ってくるということか。</p>
委員	<p>車両の場合は、一番北側の車両出入口という箇所になる。そこへ駐車し、先ほど平面図で説明した来客・職員玄関から校舎に入ってくることになる。</p>
事務局	<p>「第2期工事(2)」について、児童クラブ建設工事、サブグラウンド整備工事と玉里小学校校舎解体工事の時期が被っている。その間の児童クラブ利用者は、どのようになるのか。</p>
事務局	<p>その間、児童クラブが利用する場所がないことになる。それについては、例えば、新校舎の多目的室などといった場所を利用するというようなこともあるが、これから協議を行い、場所を確保したいと思う。</p>

【その他】

副委員長 その他に関して、事務局からお願いしたい。

事務局 今年度の建設準備委員会については、本日で終えたいと思う。

来年度のスケジュールについては、資料4を見ていただきたい。昨年度と本年度は、校舎建設の議論を中心に準備委員会を進めてきた。来年度以降については、学校名称や通学体制など、学校運営に関わる事項を中心に協議を進めていきたいと考えている。スケジュール下の表を見ていただきたい。これは、「準備委員会設置要綱」第8条、専門部会の規定から抜粋したものになっている。専門部会は、準備委員会の所掌事項の推進のために設置するものであり、来年度は専門部会を中心に調査・検討を行っていききたいと考えている。具体的な検討事項として、総務・通学部会は校章や校歌、通学体制などについて、学校運営部会は教育課程や学校行事などについて、PTA部会はPTA組織の運営に関する事項についてとなっている。委員の構成についても表のとおりとなっている。委員の入れ替わりがあるものと考えられるため、来年度に改めて構成を決めていきたいと考えている。続いて、上段の表、来年度のスケジュールには、各々の組織と会議の回数を記載している。上から、準備委員会、これは全体会にあたる。協議内容としては、学校の名称や専門部会からの報告事項の協議とし、4回程度の開催を計画している。総務・通学部会について、協議内容は制服や体操服、通学体制等とし、4回程度の開催を計画している。PTA部会は、1回程度の開催を計画している。また、教職員で組織している小中連携・小小連携推進委員会においても、総務・通学部会開催の前段において、通学体制に関係すると思われる週時程表や課外活動、部活動といった事項について整理いただきたいと考えている。現在の想定スケジュールを説明させていただいたが、来年度第1回目の準備委員会の際に、改めて説明させていただく。

19:40 閉会